



①



③



②



⑤



④

魅惑のサウンド
動画はこちらから



① 平成27年宇城合唱祭での写真 ② 練習光景 ③ 鳥居の先に弦巻公民館 ④ 指示を出す岩村さん ⑤ 真剣に練習するメンバー

豊かな里山に広がる魅惑のサウンド 男声コーラスグループ おがわGGエコーズ



Conductor 指揮
岩村 徹さん (元教員)

Piano 伴奏
田端 かおりさん (合志市吹奏楽団響)

Tenor テノール
真野 智至さん (団体職員)
澤野 昭三さん (農業・カフェ店主)
鹿本 泰徳さん (元教員)
福田 良徳さん (農業)

Baritone バリトン
濱田 幸可さん (大工)
竹崎 桂一さん (僧侶)

Bass バス
那須 洋一さん (衣料品店主)
米村 多規男さん (会社員)

寺本 広則さん (会社員)
前田 圭一さん (農業)

最年少メンバーで塔福寺の僧侶竹崎桂一さん(35)は宮崎県出身。11年前に、妻の実家があるこの地へに移り住んだ。ある年、地域の祭りでスカウトを受けたが、当時は僧侶になるための修行中。はやる気持ちを抑え、修行を終えた1年後に加入した。

音楽活動が「つなぐ地域の絆」の里山に響き渡る。ぶれの「オジサン(笑)」たちが、歌い出すと一変。一人一人が音楽家へと変身していく。誰もがこのギャップに驚かされるのだ。次第に温かで柔らかなサウンドが出来上がり、静かな夜の

の民謡や演歌などの練習に入っていく。豊富なレパートリーは小さな子どもたちからお年寄りまで幅広いファンを引き付ける。指揮者で指導者でもある岩村さん。にこやかな表情で優しい口調だが、音楽への追求に妥協はなく、的確な指示が飛ぶ。それに答えようとメンバーは一生懸命に取り組んでいく。その光景はまさに少年たちの部活動。メンバーは地域でよく見る顔ぶれの「オジサン(笑)」たちが、歌い出すと一変。一人一人が音楽家へと変身していく。誰もがこのギャップに驚かされるのだ。次第に温かで柔らかなサウンドが出来上がり、静かな夜の

地域に親しまれてグループ名の由来は、代表の岩村徹さん(77)夫婦が営む岩村商店の通称。地元では親しみを込めて「岩村ゲタヤ」と呼ばれている。この「ゲタヤ」と男声合唱団を意味する「グリークラブ」の頭文字Gを取り、地域に愛されるように願いを込めて「GGエコーズ」と名付けた。

結成のきっかけは、岩村さんが37年の教員生活を終え、妻の実家がある海東地区にUターンしたこと。長年、合唱や器楽を指導してきた岩村さんは、地域の

の中で盛んなスポーツ活動に比べ、低調な文化活動の状況に少し寂しさを覚えた。そこで地元弦巻区のレクリエーション大会の打ち上げの時に思い切って「歌いませんか」と参加者呼び掛け、この誘いに賛同した4人が歌い始めた。

活動拠点の弦巻公民館には、時間になるとメンバーが続々と集まる。発声練習が済むと、世界

おがわ GG エコーズ

平成23年結成。メンバー12人。コロナで活動を縮小中だが、例年は地域のイベントや音楽大学、高齢者施設などに招かれ年間7回ほどステージ公演を行う。現在、結成10周年記念コンサートを企画中。新規加入メンバーと公演依頼は随時募集中。
〒岩村商店 ☎43-1015

「皆さん人情味があり温かい。地域に解け込めたのも、皆さんのおかげ。」と笑顔。皆もそれぞれに「良い指導者に巡り会ったことで、音楽活動が人と人をつなぎ、地域の絆を深めてくれた。やって良かった。」と活動を振り返る。その表情は明るく誇らしげだ。岩村さんは「これからも自然豊かで人の温かみを感じられる海東の地域性を大事にしなが

ら、活動していきたい。そしてもっとファンを増やしていきたい。これから田舎暮らしをした

宇輝人

vol.61